

平成21年度 事務事業評価シート（平成20年度実績分）

事務事業名	大腸がん検診事業		部課コード	1404	予算事業科目	010402030345	事	単	区分	継続	
所管部署	担当部局	健康福祉部	部局長名(2次評価者)	明神 公平		個別事務	全部	010402030345	-		
	担当部署	健康づくり課	所属長名(1次評価者)	江里口 護			-				
	電話番号	823-9436	E-mail	kc-140400@city.kochi.lg.jp			-				

1 事業の位置付け

予算科目(平成20年度)	高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け				
会計	01 一般会計	目標	02 Bいきいきと輝き安心して暮らせる都市	政策基本方針	地域に暮らす人々が、年齢の違いや障害の有無にかかわらず、人生のあらゆる舞台上、健康で文化的な生活を享受できる環境づくりを推進します。
款	04 衛生費	政策	04 健やかに暮らせる環境づくり		
項	02 保健所費	施策	01 健康づくり支援		
目	03 健康づくり推進費	区分	03 成人の健康づくり		

2 事業の根拠

法律・政令・省令	健康増進法, がん対策基本法	法定受託事務
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等		
その他(計画, 覚書等)		

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	40歳以上の高知市民		
意図	どのような状態にしていけるのか	大腸がんを早期に発見し、早期治療に結びつける。		
手段	事業実施体制等	高知市医師会に委託し、医療機関個別方式で実施。自己負担無料	事業開始年度	平成4年度
			事業終了年度	
活動内容	どのような事業活動を行うのか	医師会への委託 市民への広報 検診結果の通知 精密検査未受診者のフォロー		
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方	
	A	医療機関数	受診しやすい環境を整える。	
	B	受診者数	より多くの対象者が受診し、大腸がんを早期に発見する。	
	C	精密検査受診率	早期治療に結びつける。	

4 事業の実績等

			18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	医療機関数	目標				20年度から医療機関で実施	
		実績			143			
	B	受診者数	目標	5,800	5,300	10,000		8,500
		実績	3,251	4,406	5,234			
	C	精密検査受診率	目標	100%	100%	100%		100%
		実績	80.00%	90%	88.10%			
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)	8,450	7,971	6,816	9,517		
		財源内訳	国費 (千円)					
			県費 (千円)					
			市債 (千円)					
			その他 (千円)					
			一般財源 (千円)	8,450	7,971	6,816		
	翌年度への繰越額 (千円)							
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	7,500	7,500	5,250			
		正規職員 (千円)	7,500	7,500	5,250			
			その他 (千円)					
		人役数 (人)	1.00	1.00	0.70			
			正規職員 (人)	1.00	1.00	0.70		
			その他 (人)					
	総コスト = ① + ② (千円)		15,950	15,471	12,066			
市民1人当たりコスト (円)		49	45	35		総コスト/年度末人口		
年度末住民基本台帳人数 (人)		327,310	341,544	340,695				

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

--

6 1次評価（所属長評価）

評価日（平成 21 年 9 月 8 日）

評価項目		評価基準	1次	平均 点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく	B	4.0	本市総合計画に掲げる「生涯にわたる健康づくり」の趣旨に合致している。 検診を受けることで、自分の健康管理を行いたいと思う市民のニーズはある。
		B (3) 一部結びつく			
		C (1) あまり結びつかない			
		D (0) 結びつかない			
② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している	A			
	B (3) 横ばいである				
	C (1) 少ない、減少している				
	D (0) ほとんどない				
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している	C	3.0	平成20年度から、検診申込の必要がなく、医療機関で個別に受診でき、また自己負担を無料にすることにより、より多くの市民が受診できるように環境を整えた。 しかし、まだ市民への啓発等が十分できていないことや、検診の方式の変更が浸透していないことから、受診者数が目標に達していない。
		B (3) 概ね達成している			
		C (1) あまり順調ではない			
		D (0) 十分な成果を望めない			
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である	A		
		B (3) 概ね妥当である			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 見直しが必要である			
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない	A	5.0	平成20年度から、高知市医師会に委託し実施している。 また、市民の自己負担を無料にすることで、健康づくり課への申込が不用となり、事務量を大幅に削減。19年度までの1年間雇用の事務補助員を削減
		B (3) 行政主体が望ましい			
		C (1) 検討の余地はある			
		D (0) 十分可能である			
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない	A		
		B (3) 概ね効率的にできている			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 十分可能である			
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い	A	5.0	40歳以上の市民であれば、市内143箇所の医療機関で、受診できる体制を整えている。
		B (3) 概ね保たれている			
		C (1) 偏っている			
		D (0) 公平性を欠いている			
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である	A		
		B (3) 概ね適正な負担割合である			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 検討すべきである			
総合点	17.0	総合評価	○ A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)		
			B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)		
			C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合)		
			D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)		

7 2次評価（部局長評価）

評価日（平成 21 年 9 月 10 日）

総合評価	評価理由・今後の方向性等
○ A 事業継続	一次評価のとおり。
B 経費削減に努め事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項

--